

名前：

今、インターネットでレポートの資料などをさがす人が多いようになっています。それがインターネットの便利性と速さによって生まれてきました。どうして人々はこんな需要がありますか。私は思っているのは、今の社会に資料やインフォメーションがあまりすぎるかもしれないからです。しかし、みなは段々インターネットの世界へ行くのは、本当に大丈夫でしょう。

インターネットを利用して、いろんな新聞や面白い雑誌を無料で見ることが出来ます。こういう利点でインターネットの新聞や雑誌などがさかんに発展していきまう。それに伝統の紙本に比べてみると、インターネットのほうが速いし、便利です。そして、ある人は「インターネットでニュースを見ることが出来るから、もう新聞や雑誌はいらない」と言います。

前段からみると、紙に印刷した新聞や雑誌などには必要がないみたい。けれども、私はそ

う考え方を認めません。インターネットの世界と紙に印刷した資料の世界は比べられないが、あるのは、この二つの世界は別々重要なところがあるところなんです。特に紙の触感が人間に対して昔しからありました。紙と文字の間に、微妙な感情が込められています。これはインターネットが代りにしては無理だと思っているんです。

実は、どちらかというところがあるし悪いところもあります。そして文化の場合から見ると、伝統を接続しながら、一方新しい文化を発展します。それは対立ではなくて、互に尊敬すべきで、多様文化のたぬに努力することです。